

受講料
無料



酪農学園大学

第43回 酪農公開講座

日時：2012年10月20日（土）13：00～16：00

会場：幌延深地層研究センター国際交流施設
天塩郡幌延町宮園町1-8

定員／150名(先着) 申込締切日／2012年10月1日(月)必着



「ウシの乳房は微生物とどのように戦うか？」

酪農学園大学 獣医学群 准教授 ^{ひぐち}樋口 ^{ひでとし}豪紀

乳房炎は家畜の生産性を著しく阻害する疾病の一つであり、効果的な制圧技術の確立が強く望まれています。今回の講座では「乳房炎」をキーワードに二つの話題について御紹介したいと思います。

1. 乳腺免疫(乳房の抵抗力)は病原性微生物の侵入や増殖を抑え、健康な乳房を維持する上で中心的な役割を担っています。乳腺免疫のしくみについて御紹介します。
2. 全国的にヒトや家畜のマイコプラズマ感染症が増加傾向にあります。最近、よく耳にする「マイコプラズマ性乳房炎」や「マイコプラズマ性肺炎」。農場での注意点や、今後の動向に関する話題を御紹介します。



「酪農のための草地学」

酪農学園大学 農食環境学群 教授 ^{こさか}小阪 ^{しんいち}進一

理想的な草地の条件は、何年経っても当初の良好な草種構成割合を維持し、同時に高い生産をあげることであります。しかし、現実的には年次の経過に伴い基幹草種が衰退して雑草が侵入し、栄養価や生産性が低下した草地が多くみられます。そこで今回は、草地の簡易更新(追播)による植生改善効果について、放牧草地(追播牧草の種類、播種量、既存優占雑草に対する効果)の場合と採草地(リードカナリー優占草地、アルファルファ草地)の場合に分けて説明します。



「牛の飼料学 - 良い餌のはなし」

酪農学園大学 農食環境学群 教授 ^{なかつじ}中辻 ^{ひろき}浩喜

良い餌とは、品質や分析上の栄養価が高いことのみならず、牛がたくさん食べ、牛の健康を維持し、いかに多くの良質な牛乳を生産するかです。言うまでもなく牛の餌の基本は粗飼料です。しかし、現在の濃厚飼料に依存した酪農は、個体乳量を高めた一方で牛の健康を損ね、また、必要以上の糞尿を生産し、環境汚染の原因にもなっています。本講座では、牛の健康維持、生産性向上はもとより、我々が生活する環境にも優しい良い餌 - 粗飼料の重要性について、今一度考えてみましょう。

<お問合せ・お申込み>

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 酪農学園大学エクステンションセンター 生涯学習課(担当 奥寺)
TEL:011-388-4131 FAX:011-387-2805/E-mail:rg-ext@rakuno.ac.jp

*裏面が、お申し込み用紙になっておりますので、ご利用ください。



主催/酪農学園大学 共催/留萌地区農業共済組合
後援/天塩町農業協同組合・幌延町農業協同組合・北海道獣医師会留萌支部・北海道獣医師会宗谷支部・北海道獣医師会上川支部
協賛/酪農学園ミルク産業活性化推進会議

第43回 酪農公開講座 「牛の健康管理について」

申し込み
用紙

10月20日(土)

12:30	受付開始	
13:00	開会挨拶	酪農学園大学 学 長 谷山 弘行 留萌地区農業共済組合 組合長理事 中尾 克美
13:10	講義 1	「ウシの乳房は微生物とどのように戦うか？」 酪農学園大学 獣医学群 准教授 樋口 豪紀
13:55	講義 2	「酪農のための草地学」 酪農学園大学 農食環境学群 教授 小阪 進一
14:40	休 憩	
14:50	講義 3	「牛の飼料学 - 良い餌のはなし」 酪農学園大学 農食環境学群 教授 中辻 浩喜
15:35		パネルディスカッション
16:00	閉会挨拶	酪農学園大学エクステンションセンター所長 佐々木 均

会場案内

幌延深地層研究センター国際交流施設

〒098-3207
北海道天塩郡幌延町宮園町1-8
TEL: 01632-5-1593

■最寄りの駅からのアクセス
・JR幌延駅から徒歩5分



申し込み用紙

●ハガキ・FAX・E-mail・QRコード読みとりのいずれかにてお申し込みください。

申込締切日 2012年10月1日(月) 必着・先着150名

〒 電話/FAX 住所 会社・所属	〒	TEL	-	-	FAX	-	-
参加者名	お名前・ふりがな			お名前・ふりがな			

お問合せ
お申込み

酪農学園大学エクステンションセンター 生涯学習課(担当 奥寺)
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 TEL 011-388-4131 FAX 011-387-2805
E-mail rg-ext@rakuno.ac.jp

* お預かりした個人情報は本講座以外の目的には使用致しません